

令和6年(2024年)7月25日(木曜日)

# 三島の「まちづくり」 ノウハウ 台湾に

学習機関  
社区大学

## 地域協働の環境整備実践

台湾の生涯学習機関「社区大学」の関係者が26日まで、三島市に滞在し、地域協働でのまちづくりや環境改善活動に取り組むグラウンドワーク(GW)三島の取り組みやノウハウを学んでいる。現地で設立準備が進むGW台湾のマニュアルづくりに役立てる。



源兵衛川の清掃に取り組む関係者＝三島市

同機関の関係者が10年前、三島のまち・川づくりに着目し、GW三島の渡辺豊博専務理事を講師として招き始めた。行政、企業、市民を巻き込んだパートナーシップ型の市民運動を展開するGWに今後の可能性や発展性を感じ、GW台湾の設立を決めた。来年度に向けて準備を進めている。今回訪れたのは、14地区の社区大学のトップや関係企業の社員ら24人。GW三島の実践地の視察やワークショップでの話し合いを通じて、GWの手法について理解を深めている。市民活動により清流を復活させた源兵衛川の草刈りや清掃にも

取り組んだ。

社区大学は台湾内85カ所に設置される国家的な生涯学習組織。年間約185万人が受講しているという。

(三島支局・岡田拓也)